

平成30年度学生募集要項（一般入試）の誤植について

既に公開中の標記要項43ページ、「(注15)の理科の選択科目の説明」に誤りがありました。

関係者の皆様にはご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。

正しい内容は次のとおりです。

【誤】(注15) 数学, 理科 (物理, 化学, 地学から1科目) 及び外国語から… (以下略)

↓

【正】(注15) 数学, 理科 (物理, 化学, **生物**, 地学から1科目) 及び外国語から… (以下略)

つきましては、該当箇所を**朱書き**にて表記したものを、次葉のとおりお知らせいたしますので、一般入試（前期日程）で環境科学部選抜方法B（理系）を志願予定の方におかれましては、ご確認くださいますようお願いいたします。

なお、公開中の標記要項についても、正しい内容に差し替え済みであり、40ページの内容には誤りはないことを申し添えます。

平成29年12月28日

長崎大学

* 「学力検査等の実施教科・科目等及び配点」に関する注意事項について

(1) 「大学入試センター試験の利用教科・科目名」欄

※ 地歴・公民及び「基礎を付していない」理科の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」とする。

(注1) 地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。

(注2) 理科の「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する

(注3) 地歴・公民を2科目選択する際に、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。

(注4) 理科で「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」を選択する際に、同一名称（「物理基礎」と「物理」等）を含む科目の組合せを選択することはできない。

(注5) 理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合

① 「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」を受験している場合は、高得点科目を採用する。

② 「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。

(注6) 数学及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。

ただし、理科については第2解答科目は採用しない。(多文化社会学部)

(注7) 数学及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。

ただし、理科の第2解答科目は、第1解答科目を採用している場合のみ採用する。

※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。(教育学部)

(注8) 地歴・公民及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。

ただし、地歴・公民及び理科の第2解答科目は、それぞれの第1解答科目を採用している場合のみ採用する。

※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。(教育学部)

(注9) 数学を2科目受験している場合は、高得点科目を採用する。(教育学部)

(注10) 世B, 日B, 地理B, 倫・政経から1科目以上選択すること。(教育学部)

(注11) 学部が指定したパターン（【a】及び【b】）で高得点となるパターンを採用する。(経済学部)

(2) 「個別学力検査等」欄

※ 個別学力検査等において複数教科、科目、科目群等から選択する場合は、出願の際に届け出ること。

(注12) 国語、数学のうち1教科を選択する。(2教科とも受験することは不可)(教育学部)

(注13) 数学及び理科(物理, 化学, 生物, 地学から1科目)の2教科から1教科選択。2教科を受験することもできる。2教科を受験している場合は、高得点の教科を採用する。(出願後の選択・変更は不可)(教育学部)

(注14) 数学, 理科(物理, 化学, 生物から1科目)及び外国語の3教科から1教科選択。複数教科を受験することもできる。複数教科を受験している場合は、高得点の教科を採用する。(出願後の選択・変更は不可)(歯学部)

(注15) 数学, 理科(物理, 化学, 生物, 地学から1科目)及び外国語から2教科選択。3教科を受験することもできる。3教科を受験している場合は、高得点の2教科を採用する。(出願後の選択・変更は不可)(環境科学部)

(3) 「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」欄

※ 大学入試センター試験の配点は、配点等欄のとおり換算して利用する教科等がある。ただし、英語は筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を配点等欄のとおり換算して利用する。

※ 配点に*印を付してある教科は選択科目を表す。

(注16) 配点cについては、数学(100点満点)及び外国語(100点満点)のそれぞれの得点を1.5倍し、合計を300点満点とする。

配点dについては、数学(100点満点)及び外国語(100点満点)のうちいずれか高得点の科目の得点を2倍し、合計を300点満点とする。(経済学部)

(注17) 配点Aで110位以内にある者をまず合格者とする。次に、配点Aの合格者を除いた受験者の中から配点Bでの高得点順に合格者を決定する。(経済学部)

(注18) 面接は点数化せず段階評価を行い、評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格とすることがある。(歯学部)

(4) 「水産学部の前期日程における実施教科・科目等及び配点」

※ 大学入試センター試験を資格試験的に利用し、大学入試センター試験の得点は合否判定には利用しない。

(個別学力検査等の成績のみで判定する。)

配点に**印を付してある教科の得点は、第一段階選抜のみに利用する。

[国語(200), 地歴・公民(100), 数学(200), 理科(200), 外国語(200)計900点とする。]

(5) 「その他」

本学の入学者選抜において、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。